

↓ 素敵な衣装を着て、この日のために練習してきた踊りを披露する参加者



出展された作品は力作ぞろい



元気いっぱい歌と踊りを披露



会場を埋めつくした観客



みんなの広場

心 ほほえみ広げてふれあいステージ ひとつに笑顔の花が満開

『第13回ほほえみ広げてふれあいステージ』が市民センターでありました。これは、市内の福祉施設の利用者に、歌や踊りの発表、書や手芸などの出展を通して交流を深めてもらおうと、市社会福祉協議会などで行っているものです。ステージでは過去最多の13施設が参加し、手作りの衣装を着て、練習の成果を発表。懸命で楽しそうな姿に、会場はほのぼのとした雰囲気になり、多くの笑顔が広がっていました。

チ 地元高校球児の甲子園出場を支援 チーム甲子園プロジェクト始動

地元（市内4校と有田工）高校球児を支援し、3年をめぐって甲子園へ送りだそうと『チーム甲子園』が発足しました。チームは、市や市軟式野球連盟、商工会議所など9団体で構成。少年野球教室の開催や大会の誘致、野球指導者研修会などを企画します。委員長の岡本和宏さんは、『甲子園出場、そして1勝をめざしたい』と話していました。



↑ チームの構成団体は、今後連携して取り組むことを確認しました

↓ セラミックロードの進捗状況について説明を受ける住民の皆さん



伊 立花地区で市長出前まちづくり座談会 万里の将来を考え活発に意見交換

『市長出前まちづくり座談会』が立花公民館で開催されました。これは、市民の意見を市政に生かすため、各町の住民と市長が直接対話するもので、1月から順次行っています。市政の取り組みや成果について説明を受けた後、参加者からは、教育環境に関する課題やスポーツ合宿に関する提案など、市全体を考えた意見も多く出されていました。

このコーナーでは、あなたの周りの身近な出来事や話題を待っています。市役所情報広報課広報係までご連絡ください。(☎234313 広報係直通)

農 市で初めてとなる『有害鳥獣捕獲隊』が発足 農業被害軽減に向け精鋭たち集結

市は、新しく『有害鳥獣捕獲隊』を結成し、この日、市役所で隊員への委嘱式が行われました。隊員は、市猟友会の会員（約 110 人）から選抜された 13 人で、農業者からの要請に応じ、いのししなどを捕獲したり、出没地域をパトロールしたりします。今後は、隊員の年間を通じた活動により、農業被害の軽減が図られることが期待されます。



↑ 辞令書を手に塚部市長と記念撮影をする『有害鳥獣捕獲隊』の隊員

↓ 避難経路を話し合うなど住民の視点でマップ作りに取り組む参加者



作『わがまち・わが家の防災マップ』作成説明会 るぞ！わがまち守る大切な地図

『わがまち・わが家の防災マップ』作成に係る説明会が市役所であり、伊万里地区、立花地区、大川内町、波多津町の区長など約 120 人が参加しました。参加者は、武雄河川事務所の職員からマップ作成の方法などを学んだり、地図を囲み熱心に話し合ったりしていました。マップは来年 1 月をめどに完成させ、その後、各世帯に配付されます。

力 平成 25 年度 伊万里市消防団員入団式 強く踏み出した防災のキーマン

伊万里市消防団員の入団式が、伊万里公民館で行われました。昭和 29 年に発足した伝統ある消防団に、今回は、新たに 53 人が仲間入りしました。新入団員を代表して、奈良崎賞也さんが「誠実、公正に職務を遂行します」と力強く宣誓しました。また、この日は退職消防団員へ市長から感謝状の贈呈や消防関係功労者表彰も行われました。



↑ 諸消防団長に誓いの言葉を述べる波多津分団の奈良崎賞也さん

↓ 1～6年生が一丸となり夢中になって1つの作品をつくりました



ビーチに光輝く砂のオブジェと絆 黒川小学校児童がサンドアートに挑戦

黒川小学校の全校児童 162 人が、イマリンビーチで砂を材料として立体作品をつくるサンドアートに挑戦しました。児童たちは、1～6年生が縦割りの 16 班に分かれ、事前に各班で描いてきたカメや船などのイラストを基に、チームワークを発揮しながら独創性に富む砂の象を完成させるなど、作品づくりを通して絆を深め合っていました。